

工房だより

第61号
発行日
平成30年3月12日
発行責任者
施設長 舘山 聡
編集委員
佐藤 彩乃
佐藤 咲

みんなの合宿

～お料理準備編～



2月10日(土) みんなの合宿が行われました。いつもお世話になってる利用者さんのご家族の方に集まって頂き、環境整備に取り組んで頂きました。私達女性陣は、男性陣が環境整備を行って頂いている間に、お昼の準備と夕食の準備を行いました。70人近くの食事を準備するには、なんと8升ものお米を炊かなければなりません。二時間という忙しい昼食準備の時間の中で、それぞれ分担し、調理を行いました。おにぎりは一つ一つ握りパックへ。おしんこも一枚一枚お母様方が丁寧に切り、詰めていきます。温かい豚汁も作り皆さんが休憩に戻っ



まごころが入った昼食

てくるのを待ちました。私達も少し休憩をはさみ、その後はすぐに夕食準備に取り掛かります。夕食も豪華で、鯛の煮魚、お蕎麦、マカロニサラダ、天ぷら、おでんとどれも豪華。夕方になるにつれ風が冷たくなる中、夕方のお疲れ様懇親会に間に合うように調理を始めていきます。煮魚では目分量でお醤油、お砂糖、お酒を次々に入れ味見をして終了。私は「えっ」と驚きました。計量スプーン等使用せずに味付けを行って下さる方がお母さんだなと思いました。お蕎麦や、おでんといった大きい鍋が必要な中、少しの無駄もなく、要領よく一つ一つの料理が完成していき宴会前には配膳を行う事が出来ました。温かい料理を食べてもらいたいという気持ちは作っている人なら皆思う事。準備が出来次第、手元へ行くように事前のお皿や、お箸といった準備も念ひませんでした。宴会時には「こんなに食べていいの」といった声も聞かれました。とっても素敵なお料理に囲まれ幸せな時間でした。(菱木)



美味しい料理と皆とのおしゃべりで疲れも一気に吹き飛びました

に作業は進んでいると思われましたが、途中ぬかるんだ地面にダンブが挟まってしまい動かなくなってしまうトラブル発生もありました。力を合せ、押しやり引いたりしましたが動かさず諦めかけていましたが黄野さんの父様のワイヤーに助けられ難を脱出。みんなで「おお」と一安心から笑顔が溢れました。最初は山のようになっていた木も皆さんのお陰によりすっきりときれいにする事が出来「菜の花会の一体感ここに有り」と感じました。午前中でホームの周辺の片付けが終わる午後からは、うぐいすホーム周辺の道路の斜面の木を片付けに向かいました。そこには、たらの木が多く、たらの木はトゲが付いており軍手の上からでも刺さるほどで時折「いてて



色・模様さまざまなものがあります。ぜひお手元にとって見て下さい。



～外作業編～

今回私が作業させて頂いたのはうぐいすホームとなりの新しく建設しているフレンドリーホーム周辺の期の伐採作業でした。スムーズ

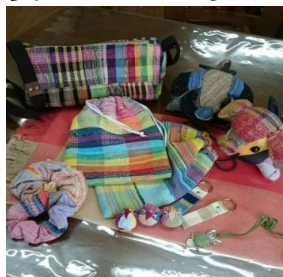


と声上がるほどで、とても片付けが大変でした。木もかさばってしまい道路も一本道なのでダンブが何往復もする事になり、かなり時間がかかってしまいました。そこで木をダンブに積んだ後上から踏みつけて運びやすくすることで何とか時間通りに全ての木を片付ける事が出来安心しました。今回忙しい中お父様、お母様にはご協力いただき本当にありがとうございます(山倉)

今年も酒蔵祭りだ

～おしゃべり班が出店します。

3月25日(日)に行われる『発酵の里 こうざき酒蔵まつり 2018』に今年もおしゃべり工房を班が出店致します。酒蔵祭りでの販売に向けて、現在急ピッチで織布や商品作製を進めています。一人でも多くの方にさざり織りの魅力を伝え、手に取っていただきたいと、たくさん商品をご用意したいと思っております。今年度最後の販売となります。酒蔵まつりへのご来場、お待ちしております。(加羽澤)





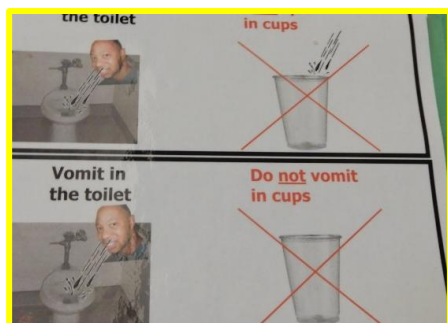
今回で最後となります。研修報告です。先月にお話した、疑問点について触れてみます。

CLICは、15名の利用者さんに対して35名のスタッフがシフト制で勤務しています。おおよそ、利用者さん2名に対してスタッフ1名が保障されています。中には1対1の支援体制も組みまわりました。ただ、一つ気になったのは、パーソナルスペース保障とでも言いま

すか、距離感の問題がありました。アメリカでは、「この利用者さんは1対1の支援です」と言った場合、どこに行くにも、ぴったりと職員がついて回るので、私は断片的にしか見なかったのかも知れませんが、支援区分4程度の利用者さんにぴったりとついていたので、とても印象的でした。「これで、利用者さんは嫌ではないのかな？」と思った程です。私達も、無意識的に「人との距離感」を持って生活していると思います。この部分、私達の支援の在り方を見直す良い点となりました。

もう一つあります。それは、視覚提示の写真に、「禁止」が沢山ありました。結構、提示が多くて驚きました。伝え方は大切ですし、「本人さん」にしか伝わらない方法があるのです。これはこれで良いのかもしれませんが、他の伝え方は無いのだろうか？と思いましたが、これも、見直しの点となりました。

さて、これまで4回に亘り研修報告をしてきましたが、総括するに「GHAセ



実際の禁止事項の絵カード



TEACCHも菜の花会も、自閉症のある方々への支援の基本的姿勢は全く同じでした。これは、自閉症の方々だけの話ではなく、利用者さん全員に言えることです。

今回の研修で自閉症支援についての再確認をしたことはとても有意義でした。また、職務として、私達がすべきことは、最終ゴールをどこに置き、その目標を定めて利用者さんが安心でき、ニーズを満たす幸せな生活保障を目指していくしかありません。その為に、あらゆる資源を用いて支援に生かすということを再認識しました。また、最近の月中活動の動向には、文化・芸能への取り組み、働くことに重きを置く傾向があり、毎日を如何に華やかに、等と課題になってきています。この辺りについては、今後法人内で検討していかなければならないと思っております。

終わりに、この研修で、福祉の心は世界共通であることを学びました。同じことが世界で取り組まれている。とても素晴らしい事と思います。私の残りの仕事人生15年、どれだけ事ができるかはわかりませんが、今以上に良いものができるよう日々邁進していきたいと思えます。(館山)

みどり祭りのお知らせ

4月の大イベントみどり祭りの日程が決まりました。4月8日(日)11時半より行われます。今年のゲストは庄野真代さんです。その他にも、アラビアン舞踊や大道芸などがステージで披露されますのでたくさんのご来場お待ちしております。



環境整備のお知らせ

すでにお知らせ済みですが、みどり祭りのための環境整備を3月31日(土)に予定しています。ご多忙とはなりますが、ご協力宜しくお願い致します。また、みどり祭りの当日もバザー・フランクフルト販売等ご協力宜しくお願い致します。

<2月の売り上げ>

椎茸科:	88,443円
(トータル)	1,750,177円
こもれび科:	27,725円
(トータル)	211,513円
あいきゃん:	31,425円
(トータル)	408,475円
大地やさい科:	111,710円
(トータル)	706,065円
おしゃれ工房:	22,893円
(トータル)	420,640円

<3月の予定>

- 21日(水) 開所日
 - 23日(金) 年度末打ち上げ
 - 31日(土) 開所日
- みどり祭りに向けて
みんなで環境整備

<4月の予定>

- 8日(日) みどり祭り
 - 16日(月)~20日(金)
 - 23日(月)~27日(金)
- 個別支援計画意見交換会
- 30日(月) しごとの日

編集後記

気温も高い日が多くなり、そろそろ春ですね。皆さん春の訪れをどのように感じますでしょうか。私は目が痒くなったり、くしゃみが出たりと身体が教えてくれます。そう花粉症です。花粉症の方はこの時期辛いですね。一緒に乗り切っていきましょう。さて、今年度の広報誌は今月号で最後となります。読んで下さった皆様ありがとうございました。来年度からもよろしくお願い致します。(s.s)